
平成16年度経営計画説明会

平成16年3月29日

関西電力株式会社

目次

経営目標

1

~

7

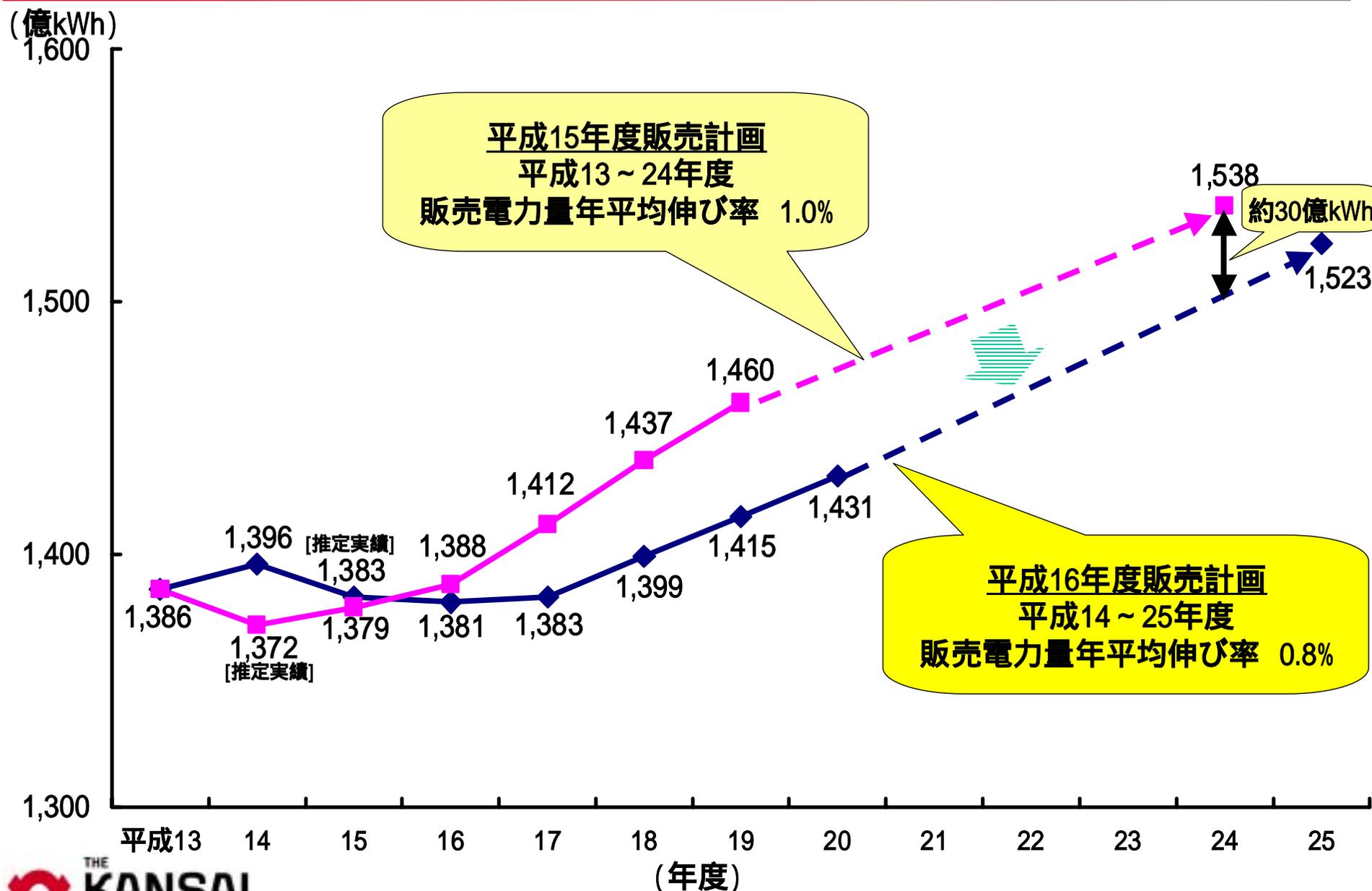
具体的方策

8

~

16

販売計画



平成16年度経営目標()

【連結】

	平成16年度経営目標	平成15年度経営目標
フリ - キャッシュフロー -	年平均4,000億円以上 (平成15～17年度)	年平均3,600億円以上 (平成15～17年度)
ROA (総資産事業利益率)	年平均2.3%以上 (平成15～17年度)	年平均2.4%以上 (平成15～17年度)
株主資本比率	25%以上 (平成17年度末)	25%以上 (平成17年度末)
有利子負債残高	3.3兆円以下 (平成17年度末)	3.4兆円以下 (平成17年度末)
経常利益	年平均1,800億円以上 (平成15～17年度)	年平均1,700億円以上 (平成15～17年度)
設備投資	年平均3,300億円以下 (平成15～17年度)	年平均3,600億円以下 (平成15～17年度)

平成16年度経営目標()

【単独】

	平成16年度経営目標	平成15年度経営目標
フリ - キャッシュフロー -	年平均4,100億円以上 (平成15~17年度)	年平均3,700億円以上 (平成15~17年度)
ROA (総資産事業利益率)	年平均2.5%以上 (平成15~17年度)	年平均2.5%以上 (平成15~17年度)
株主資本比率	25%以上 (平成17年度末)	24%以上 (平成17年度末)
有利子負債残高	3.0兆円以下 (平成17年度末)	3.1兆円以下 (平成17年度末)
PCA[]	年平均 650億円以上 (平成15~17年度)	年平均 650億円以上 (平成15~17年度)
経常利益	年平均1,700億円以上 (平成15~17年度)	年平均1,600億円以上 (平成15~17年度)
設備投資	年平均2,400億円以下 (平成15~17年度)	年平均2,700億円以下 (平成15~17年度)

< 参 考 >

【単独】

	平成16年度経営目標	平成15年度経営目標
PCA[]	100億円以上 (平成19年度)	100億円以上 (平成19年度)

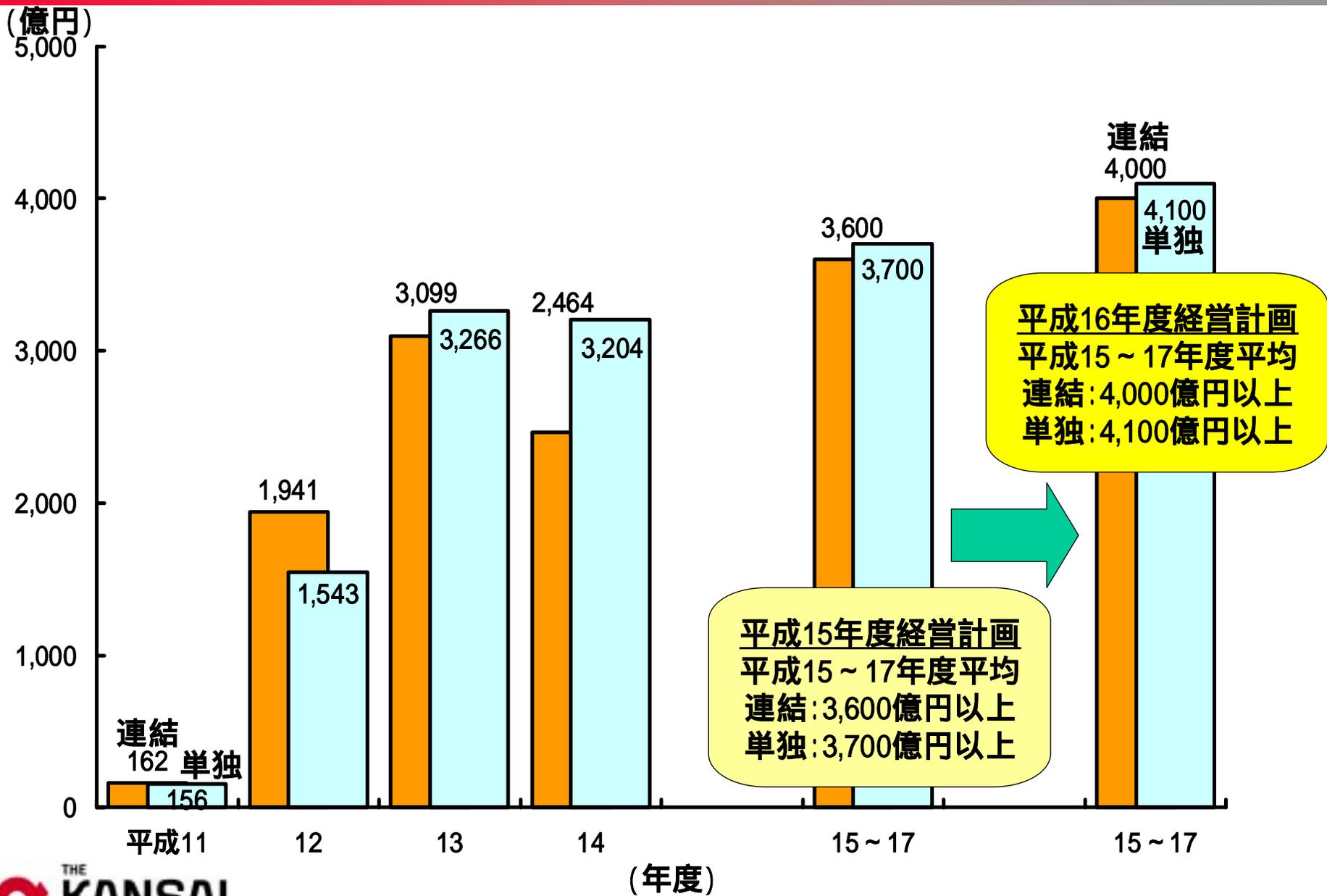
【連結】

	平成16年度経営目標	平成15年度経営目標
グループ事業の 外販売上高	2,500億円以上 (平成19年度)	2,500億円以上 (平成19年度)
グループ事業の 経常利益	330億円以上 (平成19年度)	330億円以上 (平成19年度)

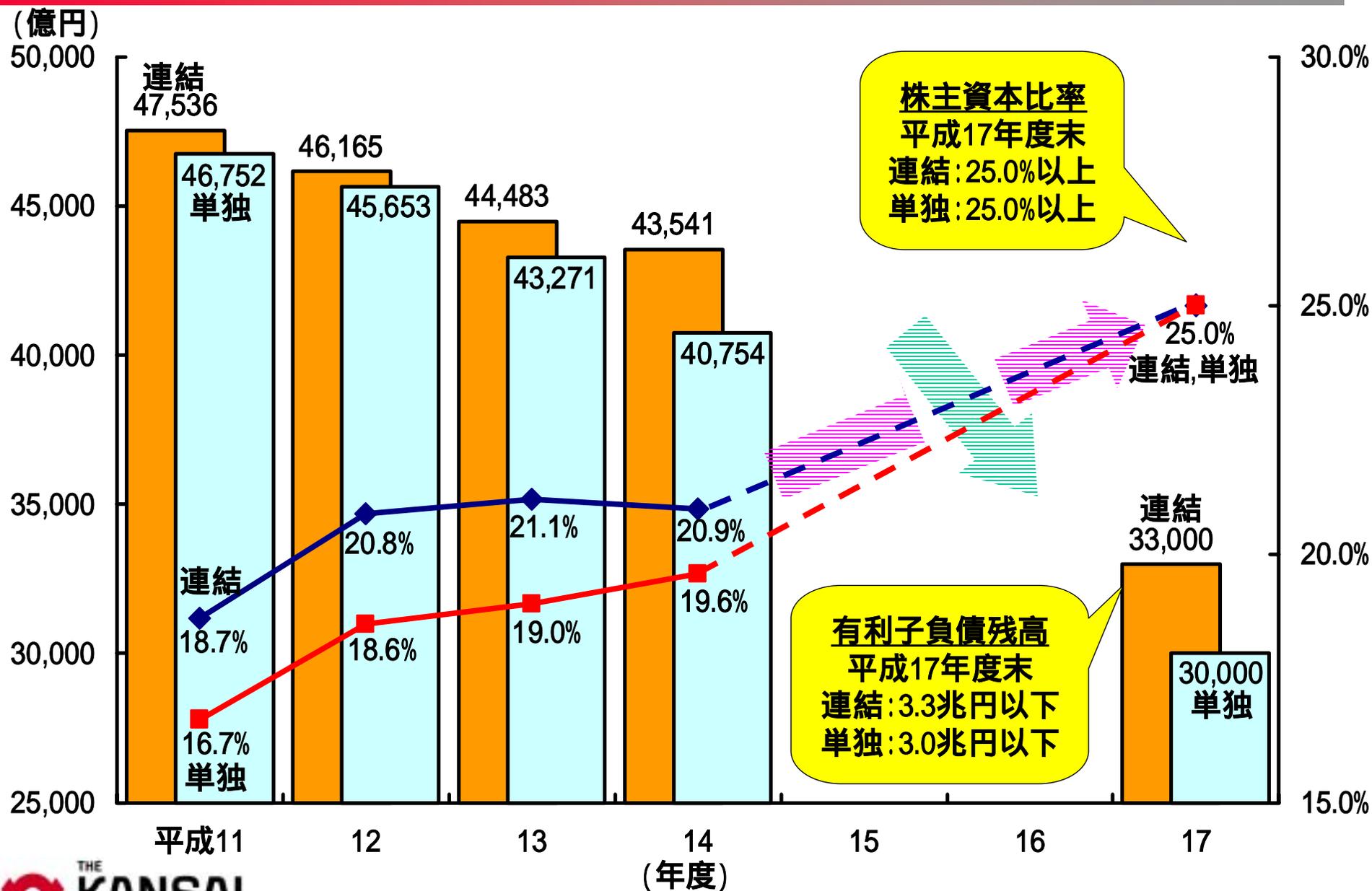
「Profit after Cost of Asset(資産コスト差引後利益)」の略。

資本市場から求められる必要最低利益を「資産コスト」として認識し(当社の資産コストレートは3.5%に設定)、資産コスト差引後の付加価値を示すもので、当社独自の指標。

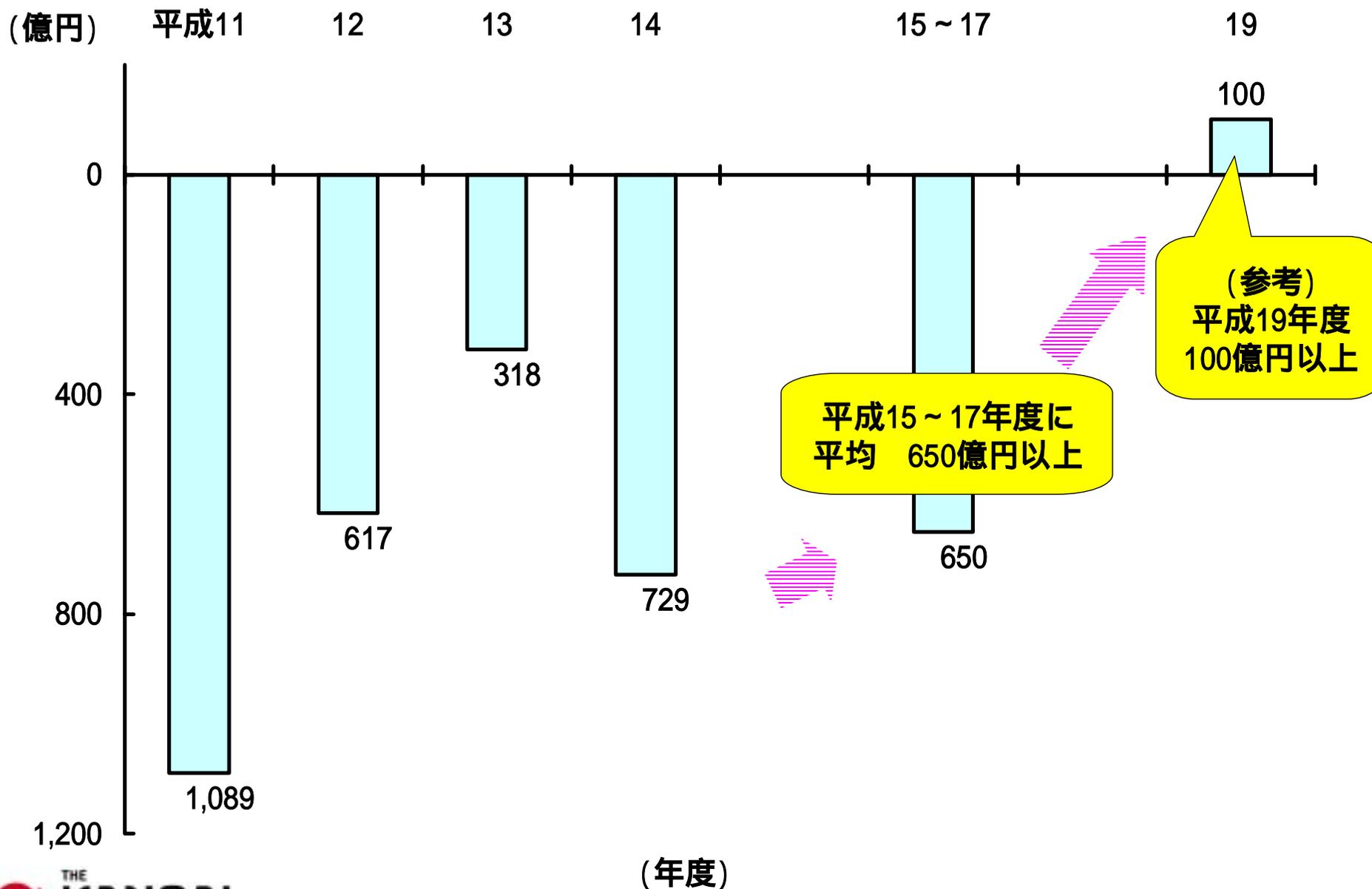
フリー・キャッシュフロー - の推移



有利子負債残高と株主資本比率の推移



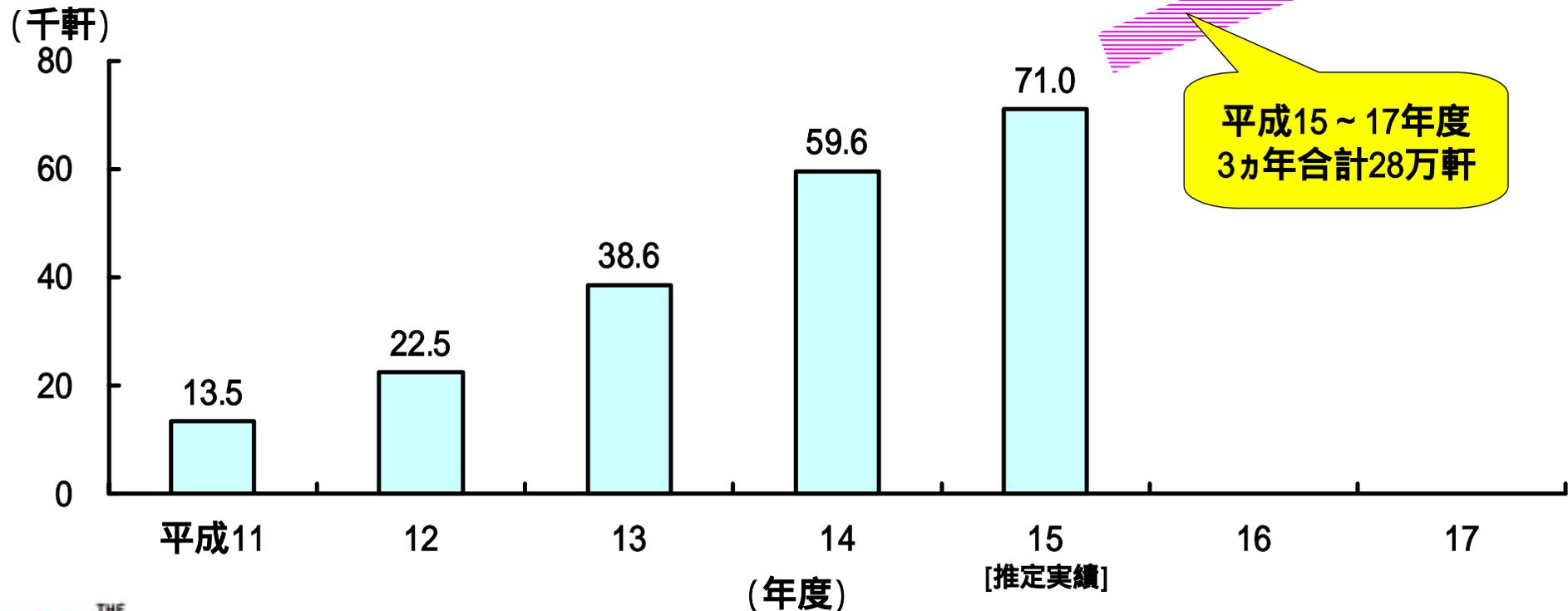
PCAの推移(単独のみ)



1. 電気事業-1

- 平成15～17年度の3年間で全電化住宅28万軒を獲得。

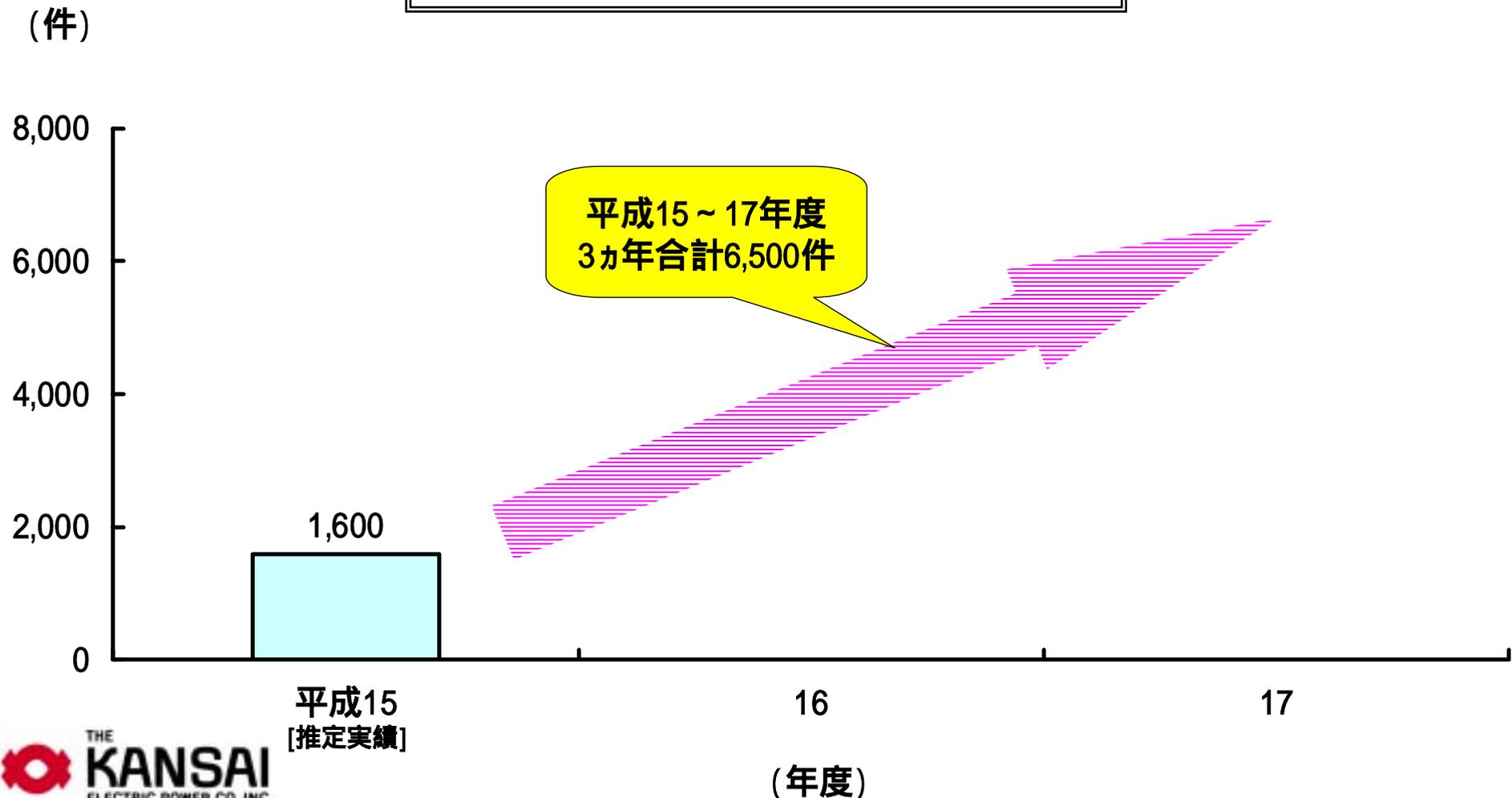
全電化住宅成約戸数の推移



1. 電気事業-2

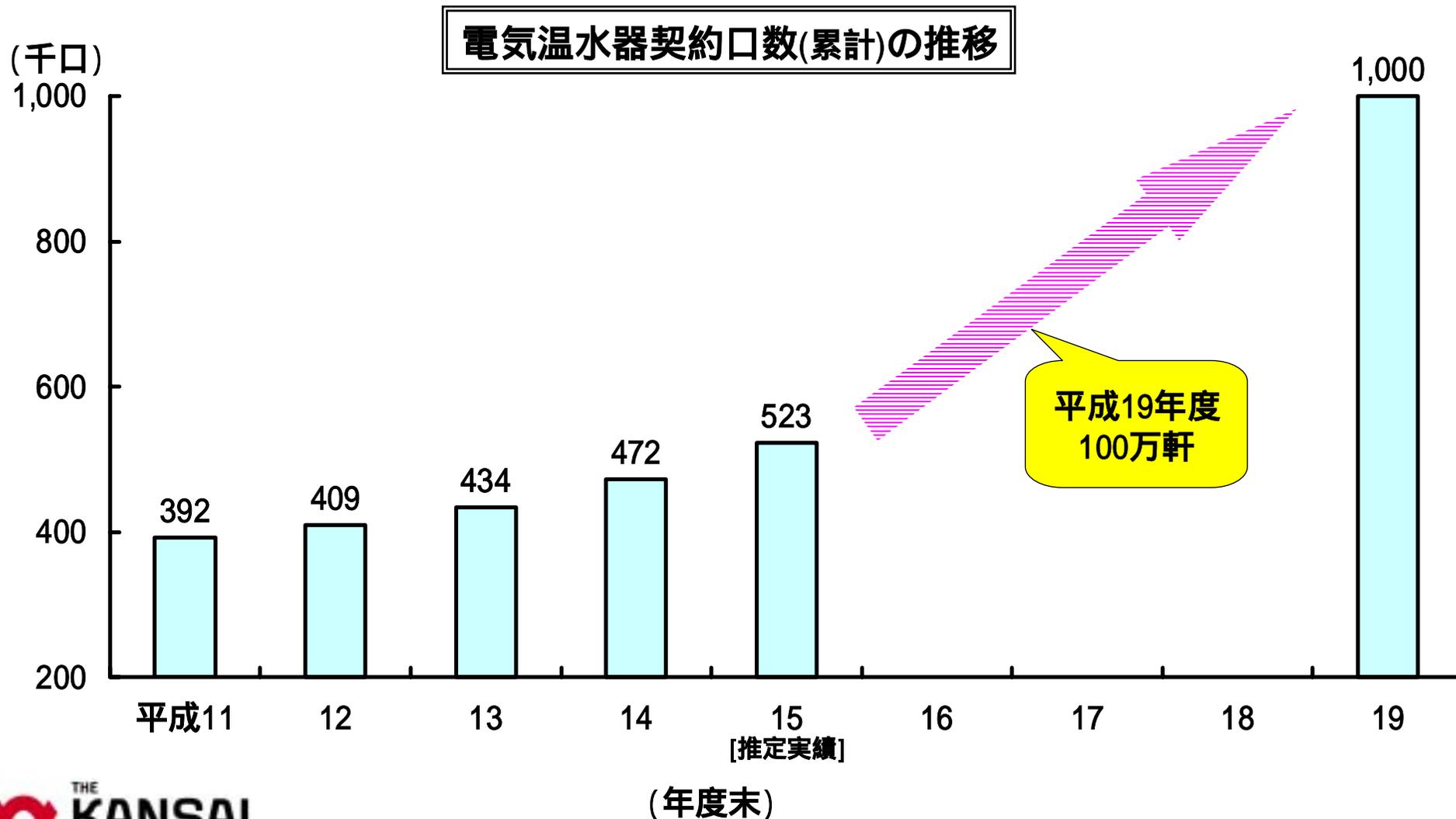
- 平成15～17年度の3年間で、業務用複合電化システム(空調、給湯、厨房設備の電化)6,500件を獲得。

業務用複合電化システム成約件数の推移



1. 電気事業-3

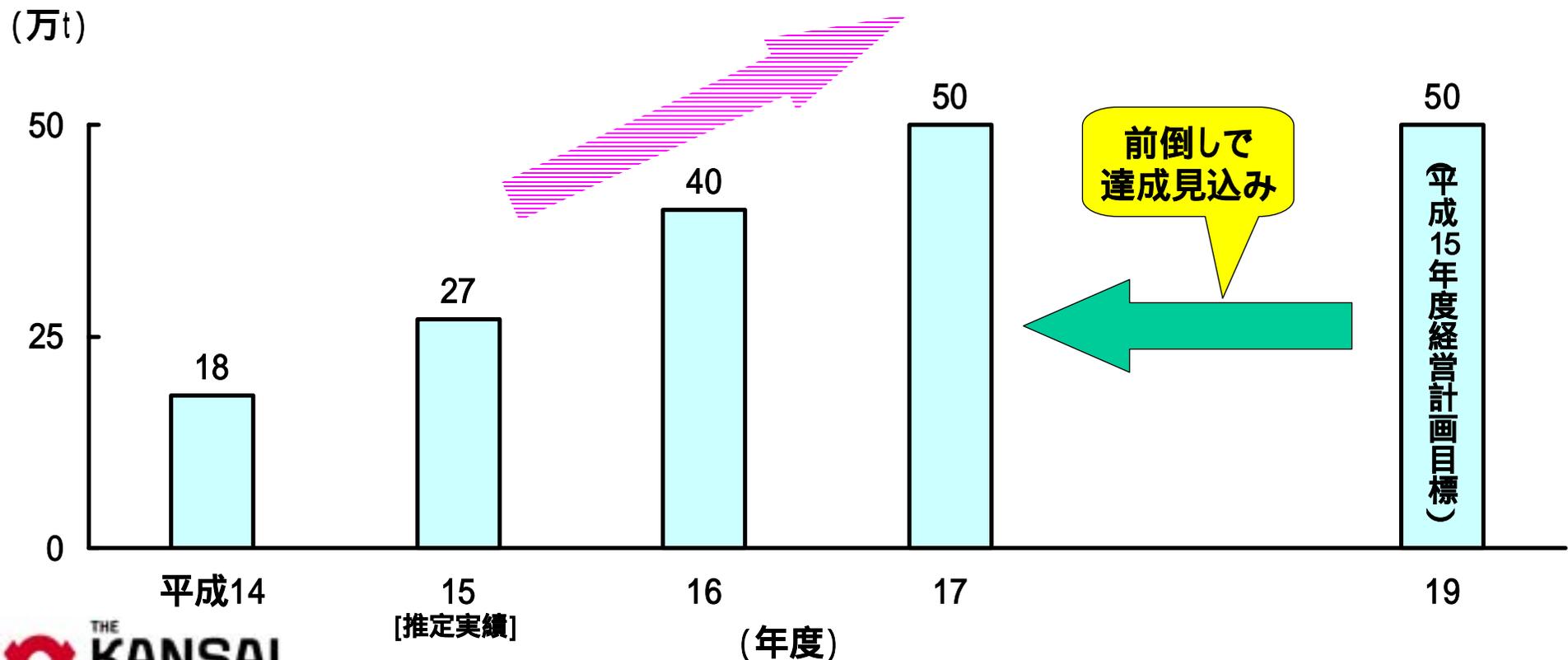
- 平成19年度を目途に、電気温水器等の電化提案により100万軒獲得。



2. ガス事業

- 総合エネルギー - 販売量として、ガスやコジェネ用燃料の石油を合わせ、平成16年度に年間40万トン(天然ガス換算)を目標に取り組む。
(平成15年度経営計画で掲げていた目標「平成19年度に年間50万トン(天然ガス換算)」は17年度には達成見込み。)

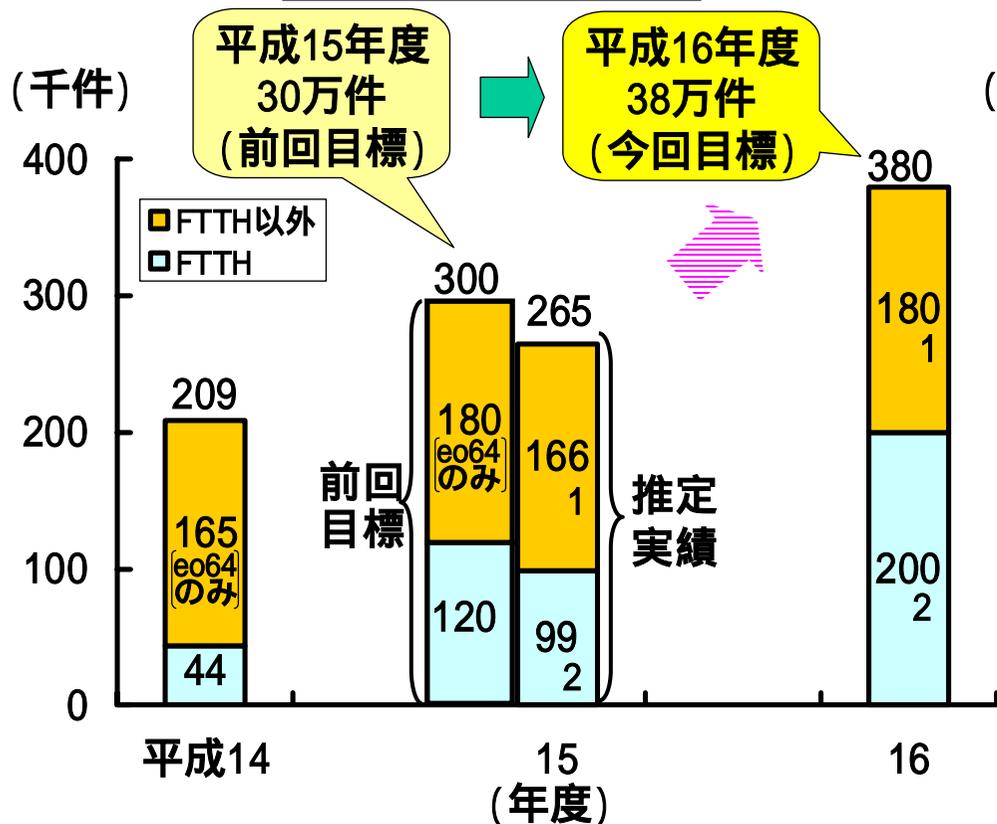
総合エネルギー販売量見通し(天然ガス換算)



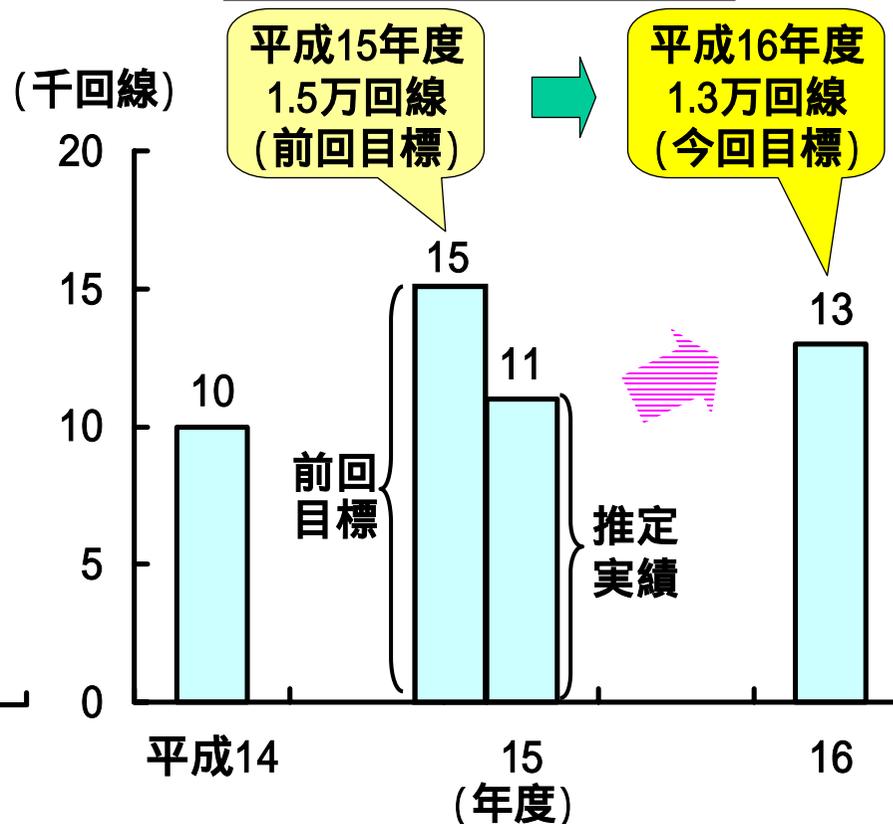
3. 情報通信事業

- ・ ケイ・オプティコムを中核会社として、お客さまのニーズに応じた幅広いメニューを取りそろえ、総合的な情報通信サービスを提供。
- ・ インターネット接続、IP電話サービスに光放送サービス()を加え、FTTHの魅力をより高める。
光ファイバによる多チャンネル番組配信。平成15年11月から一部地域で開始後、平成16年3月末で約1,600軒の顧客を獲得。

家庭向けサービス



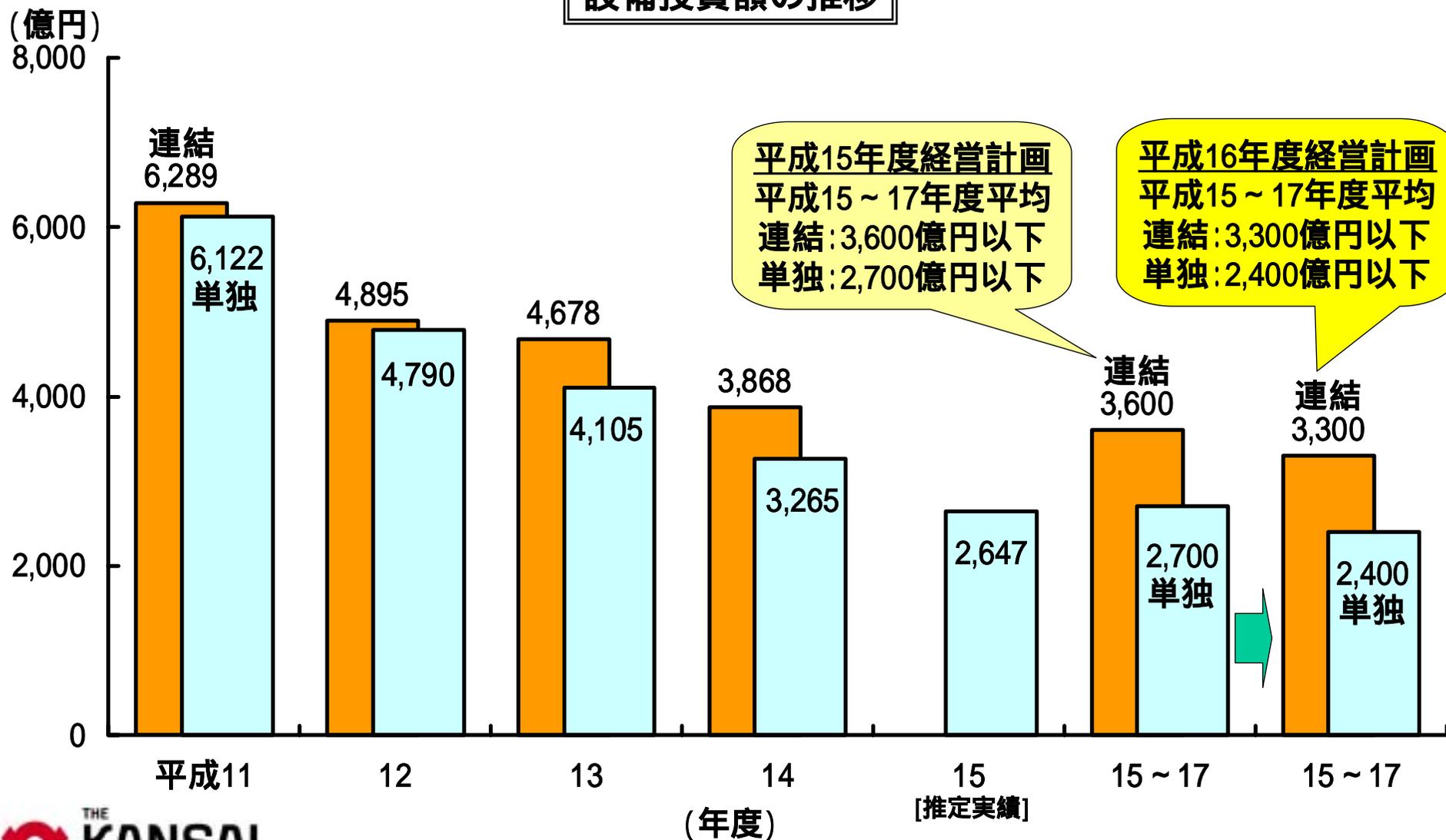
企業向けサービス(3)



1 eo64エア、eoADSL、eoメガエア
 2 eoホームファイバー、eoメガファイバー
 3 eoオフィスファイバー、ビジネスeo、IP-VPNおよび専用線サービス

1. 設備投資の削減

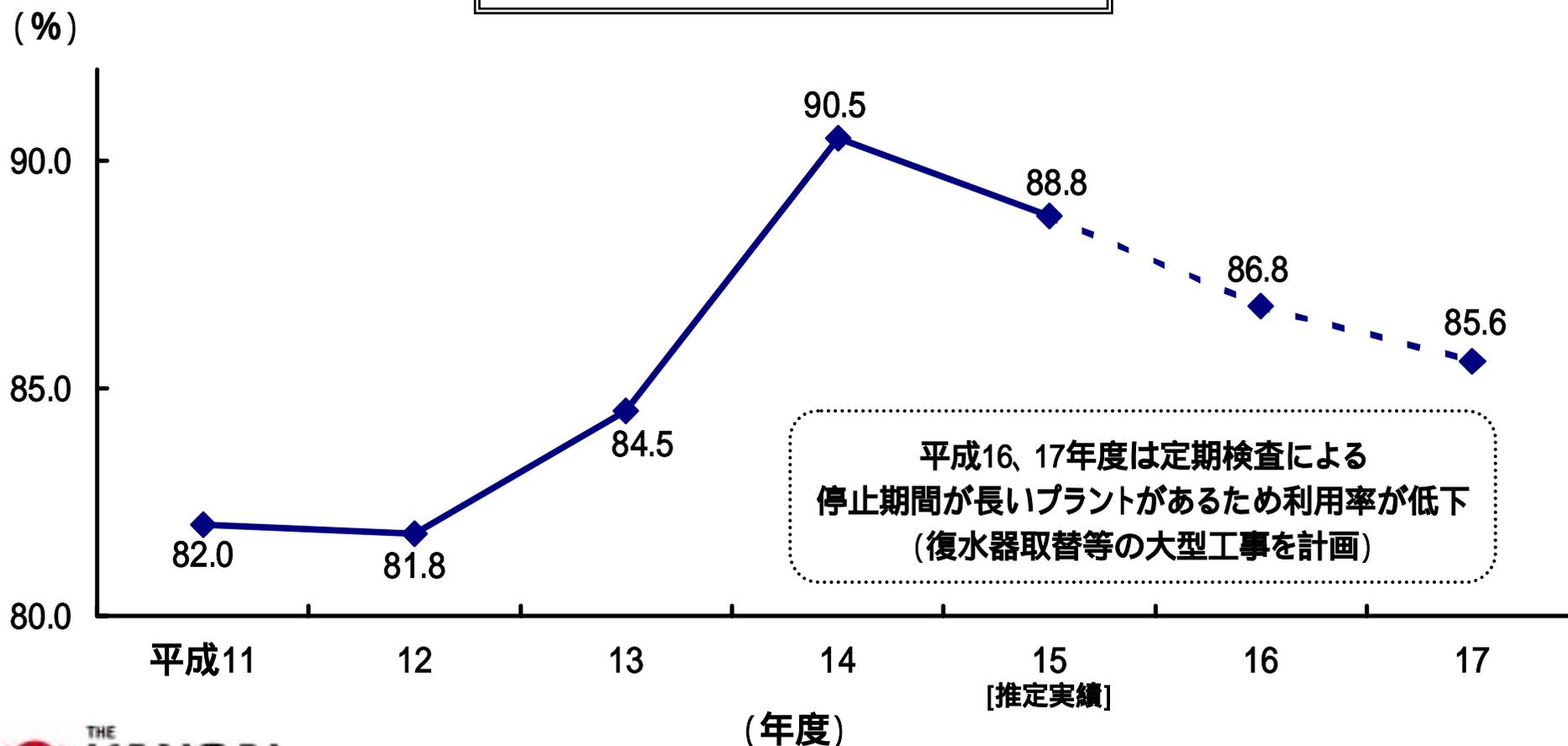
設備投資額の推移



2. 原子力高利用率の維持

- 引き続き安全性、信頼性確保に万全を尽くした上で、定期検査中の特別工事の集中化や定格熱出力一定運転により、85%以上の利用率を維持を目指す。

原子力利用率の実績および計画値



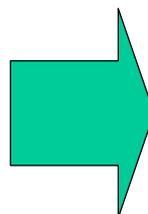
3. 火力発電機の長期計画停止の拡大

- 新たに長期計画停止を追加すること等により、修繕費、諸経費のさらなる削減に努める。

長期計画停止対象ユニット

< 既停止分 > (平成16年3月末)

発電所名	ユニット	出力 (万kW)
御坊	2号	60.0
相生	2、3号	75.0
赤穂	1号	60.0
宮津	1号	37.5
高砂	1、2号	90.0
海南	1、2、4号	150.0
合計	10ユニット	472.5



平成16年度経営計画

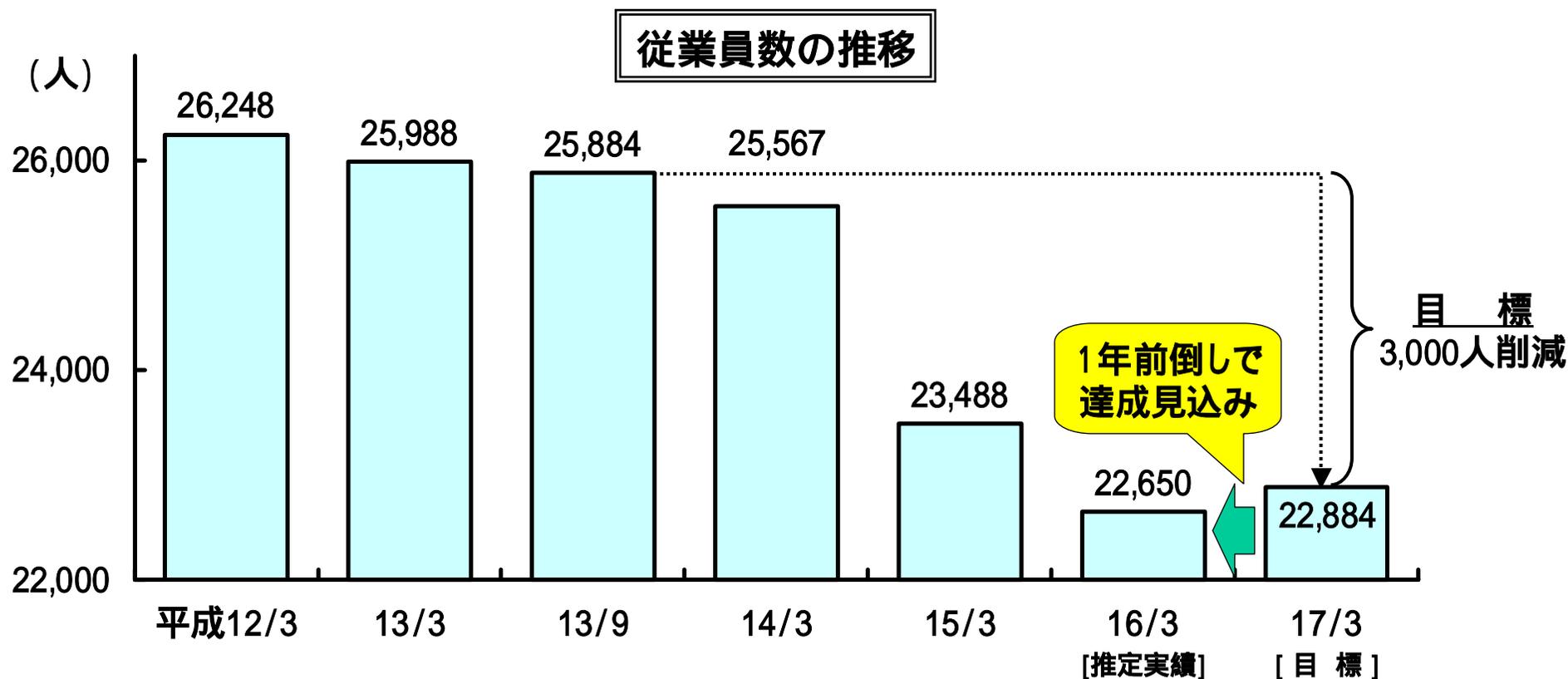
- 平成16年度～
宮津2号機(37.5万kW)を停止
- 平成17年度～
多奈川第二発電所1・2号機
(120万kW)を停止

4. 堺港発電所のコンバインドサイクル化の検討

5. 業務運営の効率化・高度化

(1) 要員の効率化

- 平成13年度9月末から平成16年度末までに電力本体で3,000人程度の要員を削減することを目指した計画は、採用の抑制や、早期退職優遇措置等のさらなる充実により、当初予定より1年前倒しで達成する見通し。



(2) グループ企業の再編、グループ大での共通サービス機能の集約化

【CSR行動原則】

商品・サービスの安全かつ安定的なお届け

環境問題への先進的な取り組み

地域社会の発展に向けた積極的な貢献

人権の尊重と良好な職場環境の構築

透明性の高い開かれた事業活動

コンプライアンスの徹底

ご質問・お問い合わせ等は、下記までお願いします。

担 当：I Rチーム 伊藤、奥出

電話番号：06-7501-0315

070-5937-4321（4510）

070-5788-0219（2361）

F A X：06-6447-7174

e - mail：finance@kepco.co.jp

当資料は、投資家判断の参考となる情報提供のみを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身のご判断において行われるようお願いいたします。

また、内容については細心の注意を払い掲載をいたしておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合、当社は一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。